

Press Release

報道用資料

2008年3月12日

2007年インド自動車初期品質、シボレーが7セグメント中3つでトップ

2007年インド自動車初期品質調査(IQS)

CS(顧客満足度)に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック(本社:東京都港区、代表取締役社長:アルバート ラパーズ、略称:J.D. パワー)は、2007年インド自動車初期品質調査(Initial Quality Study、略称 IQS)の結果を発表した。

当調査は新車ユーザーを対象に購入後2~6ヶ月における車両の初期品質を調べるものである。実際に経験した不具合をユーザーに指摘してもらい、100台当たりの不具合指摘件数として算出する。単位はPP100(Problems per 100 Vehicles)で、数値が小さいほど不具合指摘が少なく品質が良いことを示す。

11回目となる今回、内容を大幅に変更した。不具合指摘項目が8つのカテゴリーにおける200項以上に増え、また「製造不具合」(注1)と「設計不具合」(注2)の両方について調査を行っている。

注1: 「壊れる」や「動かない」など、主に製造に起因するもの

注2: 設計仕様がユーザーの期待を満たさないため、「使い勝手が悪い」など、主に設計に起因するもの

8つのカテゴリーは「外装分野」、「走行性能分野」、「装備品/コントロール/ディスプレイ分野」、「オーディオ/エンターテインメント/ナビゲーション分野」、「シート分野」、「空調分野」、「内装分野」、「エンジン/トランスミッション分野」である。

今回の2007年調査は2006年11月から2007年7月の間に新車を購入した人を対象に、2007年5月から9月にかけてインドの15都市において面接調査を実施し、約6,000人から回答を得た。調査対象となったのは、11ブランドの43モデルである。

ホンダが2セグメント、マヒンドラ・ルノー、マルチ、トヨタがそれぞれ1セグメントでトップ

セグメント別ランキングでは、シボレーが3セグメントで第1位となった。シボレーのモデルがインドの初期品質調査でトップに立つのは初めてである。他に第1位となったのはホンダ(2セグメント)、マヒンドラ・ルノー、マルチ、トヨタだった。各セグメントのトップ・モデルは以下のとおり(カッコ内はスコア)。<参考:3ページのランキング表>

コンパクトカー・セグメント: シボレー・スパーク(127PP100)

プレミアム・コンパクトカー・セグメント*: マルチ・スイフト(116PP100)

エントリー・ミッドサイズカー・セグメント: マヒンドラ・ルノー・ロガン(65PP100)**

ミッドサイズカー・セグメント: ホンダ・シティおよびシボレー・アヴェオ(109PP100) - 同率1位

プレミアム・ミッドサイズカー・セグメント: シボレー・オプトラ(97PP100)

SUVセグメント*: ホンダ・CR-V(50PP100)**

MUV/MPVセグメント: トヨタ・イノーバ(111PP100) - 3年連続1位

* 今回よりランキングを発表

** シボレー・スパーク、マヒンドラ・ルノー・ロガンは新規市場投入、ホンダ・CR-Vはフルモデルチェンジ

今回の結果について、当調査を担当した J.D. パワー アジア・パシフィック(シンガポール)のシニア・ディ

レクター、モヒット・アローラは、「シボレーは新規市場投入と積極的な品質向上によってインド市場で成功しつつある。またフルモデルチェンジしたホンダ・CR-Vは外装や内装を含む様々な点で改良が加えられており、製造不具合と設計不具合の両方においてランキング対象モデルの中で不具合指摘が最も少なかった」と述べている。

2007年の不具合指摘件数の業界平均は173PP100で、54%のユーザーが購入から6か月以内に少なくとも1件の不具合を経験していることがわかった。8つのカテゴリの中で最も不具合指摘が多かったのは「エンジン/トランスミッション分野」で、次いで「外装分野」と「走行性能分野」が多かった。この3つのカテゴリで不具合指摘件数全体の3分の2を占めている。不具合指摘項目の中で最も指摘が多かったのは今回も「燃費が悪すぎる」だった。

* 当報道用資料はシンガポールで発表したオリジナル（英語）の抄訳です。

* J.D. パワーが結果を発表する調査はすべてJ.D. パワーが第三者機関として自主企画により実施したものです。

<株式会社J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として1990年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。プライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト www.jdpower.co.jp まで。

<J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門であるJ.D. パワー・アンド・アソシエイツ（本社：米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ）は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。

<ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズ（NYSE: MHP）は、スタンダード&プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界40カ国に280カ所以上の拠点を有し、2007年の売上高は68億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト www.mcgraw-hill.com まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

(株)J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション 川野、杉崎

住 所： 東京都港区虎ノ門5-1-5 虎ノ門45MTビル（〒105-0001）

電 話： 03-4550-8090

F A X： 03-4550-8151

e-mail： cc-group@jdpower.co.jp

<ご注意>

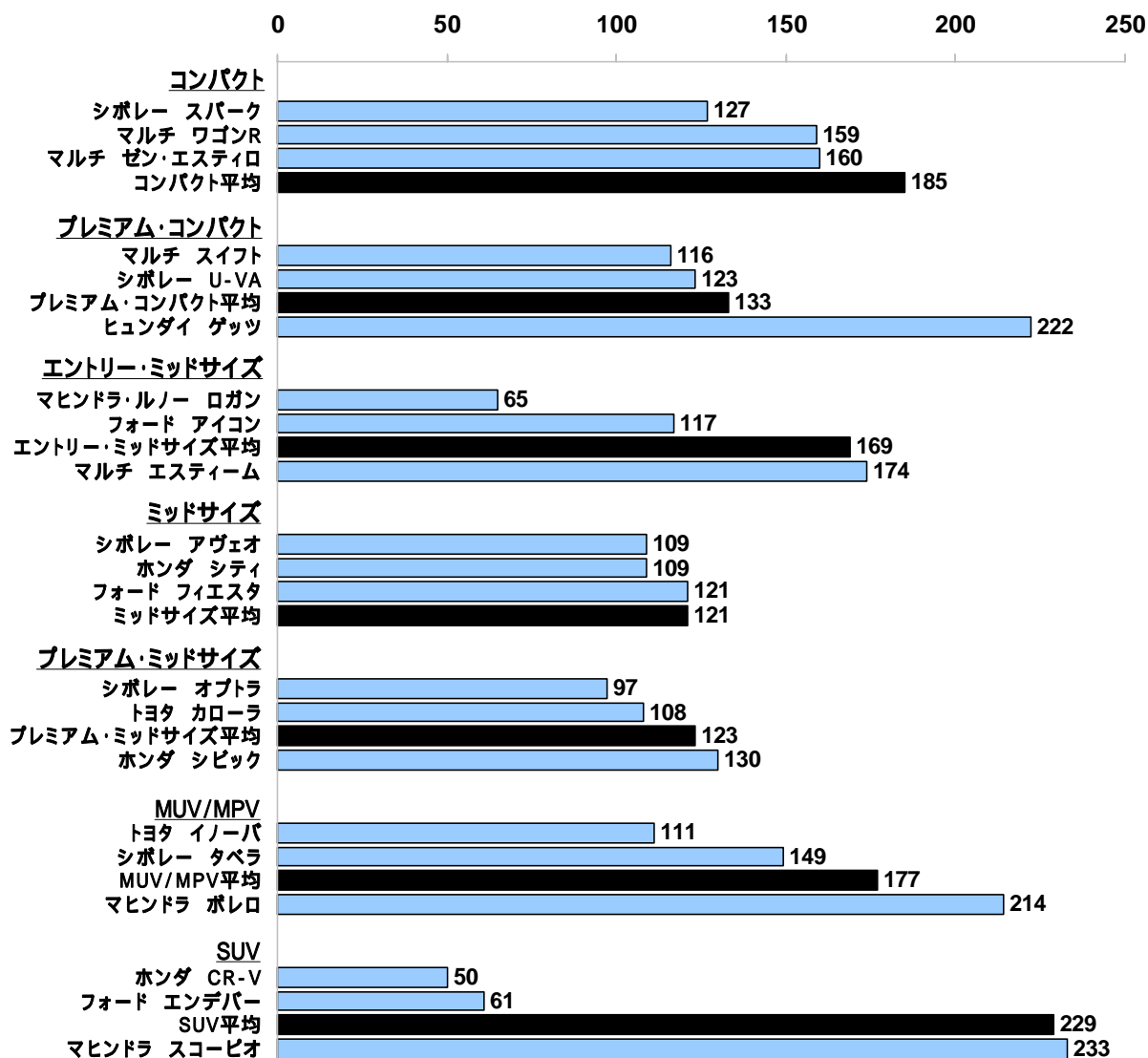
本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年インド自動車初期品質調査SM (IQS)

セグメント別ランキング トップ3モデル

(スコアが低いほど、不具合指摘が少ないことを示す)

単位: PP100



注) エントリー・コンパクトカー・セグメント、エントリー・ラグジュアリーカー・セグメント、バン・セグメントはサンプル数不足のため、ランキングは実施していません。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年インド自動車初期品質調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典 (J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年インド自動車初期品質調査SM) を明記してください。